

コミュニティ 茨曾根だより

第10号

令和3年2月22日発行



発行：コミュニティ茨曾根
連絡先：新潟市南区茨曾根 3443
茨曾根地域生活センター
Tel 375-2035

協議会の運営・活動は、新潟市の補助金を受けて実施しています。

コロナ禍の地域活動

コミュニティ茨曾根

会長 栗田 修二

人々の交流が停滞して一年。私たちはかつて経験のない、歴史的事変に遭遇しています。区ビジョンは南区の特徴として、健診受診率が低く喫煙率が高い。多量飲酒。運動習慣が低い地域と分析し、生活習慣病が懸念されております。加えて、新生活様式により更なる感染対策が必要となっております、改めて特定検診受診など意識の改善が求められています。

日頃から特産の野菜、果物をバランスよく摂取し、免疫力を高めて、マスク着用と手指消毒がルーチンとなっております。なお、感染症発生に際しては、人権侵害にならないように、思いやりある行動をお願い申し上げます。

昨年は夏祭りやソフトバレー、敬老会など殆どの行事が中止となりました。そんな状況を打破すべく、新生活様式の習慣化、世代間交流、地域で子育て支援などを目的に、下茨こどもの居場所づくり&食堂・丸太切り大会を開催しました。実施にあたり茨曾根ネットである民生委

員や老人会、教員・保育士経験者、学童クラブ、支え合い仕組みづくり推進員の協力を頂きました。熱湯10分で戻したアルファ化米を使ったカレーライス、しの竹鉄砲作り、輪切り丸太ペンキ塗り体験。小春日和のもとで楽しく過ごしました。野菜は各自が持ち寄って経費を抑制。準備半月間で開催できたことは、今後の支えあい仕組みづくりの推進モデルと考えられます。現在は高齢者中心の地域の茶の間ですが、今後は全世代型の居場所づくり&食堂も、事業メニューに加えて頂きたいと思えます。

参加者アンケートでは、用具の準備不足など反省点も指摘されましたが、「全員が楽しかった」、「定期的開催を希望」などの意見がありました。茨曾根ネットワーク各位のご協力ありがとうございました。

南区自治協議会委員

女性委員候補者募集

南区自治協議会委員、来年度改選に向けて、南区では女性委員割合を現行の30%から45%以上とする目標が設定されました。自治協議会に女性の意見を反映する絶好の機会です。女性委員候補者を募集します

ので、事務局まで、奮ってご応募をお願いします。

南区地域福祉アクションプラン 推進委員の推薦について

南区地域福祉アクションプラン推進委員に、2年間、上杉小貴子さんからご努力を頂きました。来年度の改選にあたり、上杉さんから継続してご就任をお願い申し上げます。南区地域福祉行動計画の作成と実行、自己評価などで地域の皆さんからご理解、ご協力をお願いします。

環境美化活動



8月2日(日)、各自治会長8名で地域生活センターと農村公園周辺の除草、剪定作業を実施しました。地域の皆さんが気持ちよく利用できるよう、暑い中作業に取り組み大変きれいな状態になりました。

茨曾根地区

コミュニティ懇談会

8月22日(土)、茨曾根地域生活センター2階講堂において茨曾根地区コミュニティ懇談会(区長と語る会)が開催され、五十嵐区長、南区担当課長らと活発な意見交換が行われました。内容については以下の通りご報告いたします。

主要テーマ

コロナ禍の避難所について

茨曾根地区は、お年寄りや老人世帯が多く、公共交通の利便性が悪く、災害に対してとっさの自己判断・分散避難はできないと考えられており、指定避難所が極めて重要になってくる。また、室内犬や猫などペット同伴避難者は一般避難者と区分する必要があるのではないか。このことで、指定避難所のスペース不足が危惧されるが、コロナ禍の避難所の臨時措置として学校の空き教室の活用と各自治会集会所を使用できたらと考えているがいかがか。

回答：茨曾根地区は、茨曾根小学校、白南中学校、地域生活センターの3か所が避難所となっております。学校の場合、通常であれば体育館を中心に運営しますが、新型コロナウイルス感染症の状況を勘案しながら、避難所運営マニュアルの感染症対策編に従い、まず特別教室、それから普通教室という順番で運営したいと思います。避難所にはしていませんが、自治会長等と相談しながら自治会の集会所を選択することも、災害の状況を含めて判断していかなければならないと思います。基本的には指定避難所に来ていただき、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ対応したいと思います。

例年、避難所開設の説明会が6月から7月頃あるが、なぜ今年は8月27日に遅れてしまったのか。次に、今回の新型コロナウイルス感染症を受けて、体温計など、どこまでの備品が市から支給されるのか。また、今の時代、防災無線、FMラジオをスマホに替えることができないか。

回答：新型コロナウイルス感染症の影響で大勢集めることができないため、まずマニュアルを6月中旬に送付させていただき、新型コロナ

ウイルス感染症の状況をみながら台風シーズン前には実施したいと検討した結果、8月27日開催となりました。備品の内容ですが、非接触型体温計を避難所に配置することで準備しています。また、防災無線、防災用FMラジオですが、スマホを使って強制的に通知することについては、南区だけに限定してできるのか技術的な面もありますので、ご意見として伺っておきたいと思います。

避難所について、例えば夜中に災害があった場合、最初は誰が指揮をするのか、誰が鍵を開けるのか。

回答：指定避難所に対応する市の職員を避難所ごとに2名指名しています。避難勧告、避難指示があれば、指名職員が鍵を開けますので、ご安心いただきたいと思います。

耕作放棄地について

茨曾根地区では、高齢化や病気などで耕作放棄された果樹畑が見られるようになった。付近の農家では雑草や病害虫などで深刻な状況となっている。これらの対策として、

経営効率化推進担い手への農地集積や樹園地の受託・委託を促進して廃園防止に取り組みとされているが、現在どのような活動が行われているのか。

回答：ここ数年、樹園地の放棄地が増えてきたということもあり、「南区果樹担い手育成協議会」を去年立ち上げて、県と市と農協を中心にして、果樹担い手募集の情報発信、圃場のあっせん、研修体制の充実など、それぞれ役割分担しながら取り組みを始めました。また、ルレクチエを高収益があげられるような価値を持つ果物にしていこうということ、一昨年からルレクチエブランディング事業に取り組んでいます。

中ノ口川堤防の法面に木があるため、面した樹園地が日陰になったり、果樹棚の方へ伸びて邪魔になるので処理してもらえないか。また、過去に減反政策で、水田に桃や梨を植えて永年作物として補助金ももらった。水田に戻す場合、補助金を返さなければいけないのか。

回答：中ノ口川堤防の法面は県の管理になっています。建設課が窓口になって、果樹が日陰になって育たないため伐採していただくようお願い

願いするので、場所を教えていただきたいと思えます。また、減反政策の一環で水田から樹園地にした圃場を水田に戻すことについては、産業振興課に問い合わせていただきたいと思えます。

新潟市が世間から来た人を募集して新たに就農してもらうことも大事だと思うが、農家の子どもが就農する場合も2〜3年は戦力にならないので支援策を考えてほしい。

回答：例えば農業法人に就業される方や新たに農業を始められる方については補助金がありますが、いわゆる親元就農といわれる場合は補助金の対象になっていないのが現状です。元氣な農業応援事業や農業次世代人材投資資金などの支援制度もありますので、産業振興課に相談いただきたいと思えます。

ル レクチエが耕作放棄地になっていて褐色斑点病のまん延が心配されるので、早急に対策を進めてもらいたい。

回答：農協などと相談していききたいと思えます。

南部工業団地造成について

若者の定住促進のため、イターン、Uターンによる人口増加と交流促進を目指して、南部工業団地の造成計画を策定、検討いただきたい。

回答：現在、市全体で、南区北部工業団地を含めて8地区の工業団地を整備しています。その後、新たな造成をしようかという話がでてくる可能性があります。将来、新潟市全体の状況をみながら、南区としていい方向に持っていければと思えます。

国道8号4車線化について

南区は国道が重要な幹線道路となっている。渋滞解消と交通事故防止の観点から、新飯田以北の国道について早期4車線化を管理者に要望いただきたい。

回答：現在、大通地区の4車線化に向けて、地域住民、企業などが「南区北部地域の安心・安全で便利な道路を考える会」を組織して国に提言書を出し、地域と行政が協力して取り組んでいくということと動き始めました。三条方面の4車線化についても、地域の皆様と一緒に考えていききたいと思えます。

若年無業者について

若年無業者という、学校にも籍がなく仕事にも就けないという15歳から39歳までの若者が全国で71万人いるといわれており、発生率では2.1%となる。しかし、民生委員として相談を受けた地域をみる限り、全国の発生率をはるかに超えていると思われる。南区が市内8区の中で喫煙率、飲酒率が高く、健康診断受診率、運動習慣が低いことと大きく関係していると思っている。また、全国比較できるアンケート調査によると茨曾根小学校児童は新潟市平均、全国平均と比べて自尊心が低く自信のない子どもが多いという結果が出ている。これらと若年無業者との関係も関連付けてみていかなければいけないと思っており、喫煙率、飲酒率などリンクさせて手を打つ必要があると考えている。

回答：教育、福祉、地域の力などに影響し、解決策はそういうところと連携して対応していく必要があると感じました。また、南区は素朴で素直な子どもが多い地区であり南区のいいところだと思う反

面そういう自信のない子どもがいるということに興味深くお聞きしました。南区としては、地域の人たちと一緒に何かを行うようなきっかけをつくりたいと小、中学校、高校との連携に予算をかけていきたいと考えていますので、今この話を参考にさせていただきたいと思えます。

保育園の入園について

地元で私立の温水プール付きの保育園がある。南区内外からの入園希望者が多いため、希望どおり入園できず、兄弟で別々の保育園になった家庭がある。それだと送り迎えも大変なので、区役所から配慮していただきたい。

回答：地元の保育園に地元の子ども達が入るのが一番いい方法だと思えますので、希望する保育園に入れるように努力したいと思えます。ご家族の勤務場所によって送迎方法に様々なケースがでてくると思えますので、一番入りたい保育園に入れるように、個々の状況をお聞きしながらご相談させていただきたいと思えます。

『南区地域福祉アクションプラン』

新潟市が策定する地域福祉計画と社会福祉協議会が主体となつて地域の生活課題の解決策を見出す地域福祉活動計画を、南区として一体的に策定したものを、『南区地域福祉アクションプラン』と言います。

地区ごとに地域別計画を策定し、コミュニティ単位で抱える課題の確認や解決するため、目標を設定します。そして関わる者自らが計画進行を管理する仕組みとなつております。今年度は、第二期地域福祉アクションプランの最終年度となりました。

アクションプラン座談会

九月一日（火）午後七時～
茨曾根地域生活センター

新たに

『第三期南区地域福祉アクションプラン』

期間六年を策定する為、コミュニティ単位で地域の抱える課題を抽出する為の座談会を開催致しました。今回はコロナ禍の影響で座談会は一回のみの開催となり、出席人数も制限致しました。



茨曾根地区座談会の様子

出席者は、茨曾根地区社会福祉協議会役員と、南区健康福祉課、南区社会福祉協議会、地域包括支援センターしるね南支え合いのしくみづくり推進員等二十名出席致しました。

現在困っている事、気になってる事、心配な事、こんな地域にしたい希望要望等を発表し、内容を南区社会福祉協議会の方が拾いだし集約整理して下さいました。その結果を基に新たな推進目標を設定する事が出来、無事次年度からの『地域別計画』を策定する事が出来ました。

支え合いのしくみづくり

茨曾根地区の高齢化率は、三十四・四％になりました。さらに、一人暮らし高齢者や高齢夫婦二人暮らし、高齢親子のみ家庭等の件数が増加しています。少子超高齢化社会の到来で、急速な人口減少が進む中でも、高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らしを続けられる為「医療」「介護」「予防」「住まい」「生活支援」の五つを包括的に提供できる体制が「地域包括ケアシステム」です。このシステムを築く為に、地域が主体となつて行う取り組みを総称して「支え合いのしくみづくり」と言います。

新潟市の目指す支え合いによる地域づくり

住民と行政が様々な機関とながり、協働で支え合いの地域づくりを進めています。高齢者の生活支援と介護予防の推進を目指しています。

- ・生きがい社会参加
- ・健康づくり・介護予防
- ・地域の見守り・お茶の間活動
- ・住民同士のゴミ出し等の支援
- ・ボランティア活動による支援

南区支え合いのしくみづくりフォーラム

令和三年

一月二十四日（日）午後一時半～

白根学習館ラスベックホール

第一部 講演

「コロナ禍における福祉活動のあり方について」

第二部 「見守り助け合い活動」

小林コミ協、庄瀬コミ協、

大通西自治会の代表者による

活動状況報告

コミュニティ茨曾根としての様な形で支え合いのしくみを作っていくか今後の課題です。茨曾根には、昔から五軒組又は隣組という助け合い精神の関係性がまだ残っている地域です。その関係性を活用し、隣近所見守り助け合っていく事が大切だと考えます。

自助

自分自身のケア

生活のいつくり、健康づくり、介護予防など

互助

みんなの支え合い

隣りあふ人同士の助け合い、町内会・自治会の活動、ボランティア活動など

共助

介護保険や医療保険などのサービス

サービスやヘルパー、訪問看護の要請など、社会保険制度によるサービス

公助

行政による支援

高齢福祉、障害福祉、生活保護などの行政による支援

茨曾根地区社会福祉協議会

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、市委託事業である毎年恒例の「敬老会」は中止となってしまいました。楽しみにされていた事と思いますが、多ぜいの密になる危険があり中止はやむを得ない事と思っております。

茨曾根地区の茶の間活動

◆在宅福祉訪問活動は、一人暮らしの高齢者、寝たきりの高齢者、身体障害一級二級のお宅に「お弁当と慰問品」を年三回お届けし状況の確認を致しました。

◆南区社会福祉協議会の安心箱支援事業は、十一月のお弁当配り時に一緒にお届け致しました。

◆今年度は、マスク・除菌ティッシュ・ホックairo等、今一番必要と思われる品をお届け出来ました。



- ◆清水ふれあい会：月一回の開催
 - ◆上茨みのり亭：月一回の開催
 - ◆下茨五九朗会のお茶の間 毎月第二土曜日
 - ◆東萱場元気会：毎月十五日
 - ◆丸瀧ハッスル会：毎月一日
 - ◆道瀧：毎月二回
 - ◆いきいき広場 第二第四金曜日
 - ◆新村：月一回女性会
- 年四回の班会

支え合いのしくみづくり勉強会

八月二日(日)午後二時、茨曾根地域生活センターにて、これまで茨曾根地区社協として、支え合いのしくみづくり勉強会を二回実施し、茨曾根地区における支え合い活動をどのように勧めれば良いか検討して参りました。

◆今回新役員の方の為、三回目の勉強会を実施致しました。支え合いのしくみづくり推進員の吉村弥寿江氏から説明を受け、今後の地域福祉に対する理解と協力をお願い致しました。

◆また、地域のお茶の間でも、地域の皆様に、支え合いのしくみづくりの理解を得る目的で、勉強会を実施しております。



下茨のお茶の間の様子

茨曾根自主防災会

自主防災訓練 防災学習出前講座の開催

十月十八日(日)午前九時半、茨曾根地域生活センター

◆今年度は例年と異なりコロナ禍の為、全体訓練は中止致しました。

◆南区社会福祉協議会の「防災学習出前講座」を依頼、災害時における自治会及び自主防災会の役割について研修を行いました。

◆もし災害が起きた時に、自主防災会は、地域での支え合い活動の根本を担っております。

◆自覚を新たにし、研修後各自治会ごとに避難行動要支援者宅に災害用備蓄米アルファ化米のご飯を届けながら、現況の確認を行い「要支援者の個別避難支援計画」作成の訓練を実施致しました。

◆各自自治会で備えている防災用具の実態調査目的で、何が足りなくてどのような防災用具を備えたら良いかなどのアンケート調査を実施しました。

◆結果を踏まえて今後の課題として検討して参ります。

講座内容

- 1 「避難行動要支援者名簿について」 民生委員 上杉 小貴子
- 2 「コロナ禍における災害対策」 新潟市女性防災士会 南区代表 西山 ゆき
- 3 「災害ボランティアセンターと日頃の地域防災活動について」 南区社会福祉協議会 横山 めぐみ



茨曾根自主防災会研修会の様子

【子供は地域の宝】

少子超高齢化が進む中、茨曾根地区も例外ではありませぬ。大切な子どもは地域全体で守り育てていかなくてはならないと思えます。若い世代が安心して子育て出来る地域環境を作り、「子育てしたい」と選んで頂ける茨曾根にしたいものです。



【茨っこ (小学生低学年を対象) 放課後児童クラブ】

茨曾根地域生活センターの二階にて、午後六時までお子様をお預かりし、健全な遊びや安全な生活の場を提供、心身の健やかな成長を促す事を目的に、保護者が自主運営している民設民営の放課後児童クラブです。

小学校の生徒数が年々減少していく中で、公設の放課後児童クラブになる為の人数に達する事は不可能です。よって指定管理事業者に頼むことは出来ず保護者の努力で頑張るって運営しています。

茨曾根地域は、若い女性の就業率が高く、さらに果樹栽培農家が多く祖父母は仕事がたくさんあって忙しいです。子ども達が学校以外でふれ合える場、安心して遊べる場所としては、児童クラブは最適な場所だと思えます。

現在茨っこクラブは、「放課後児童支援員」の有資格者二名の他、補助要員一名で子供たちの宿題・見守り遊びの時間を作っております。元氣な一年生など動き回る子供たちを追いかける体力も必要となり人員が足りない状況です。

茨っこクラブ サポート構成員を募集しています

登録制で、多数の構成員で児童支援員をサポートする事を目的としています。地域の宝である子供たちの為、茨曾根地域で支え合っていく為、定年退職された方や少しの時間なら大丈夫という方を募集しております。

詳細は茨曾根地域生活センター茨っこクラブ代表までお問い合わせ下さい。TEL 375-2035



CS【コミュニティ・スクール】

令和2年度新潟市のモデル校、茨曾根小、庄瀬小、飯田小学校にて学校運営協議会が設置されました。目的は、「地域とともにある学校」を目指す。地域と学校が一体となり「地域総がかり」で地域の未来を担う子供を支える。効果として、子供も大人も活動により、多くの大人とのふれ合い、地域の担い手としての自覚が生まれる事。又地域と学校の組織的な連携が生まれ、校長が移動し、継続的に関係構築していきます。

学校運営協議会委員には、コミュニティ茨曾根会長、茨曾根青少年育成会会長、地域教育コーディネーター、PTA関係者、民生委員児童委員等から選出されました。校長が作成する学校運営基本方針に対して、学校運営協議会の承認が必要となり校長または教育委員会に対して意見を述べることができるようになります。地域と学校が目指す子供の姿や地域と学校の未来の姿を共有し実現に向けて協働して取り組んで参ります。

これまでの「教育活動の点検、評価や改善の具」等を協議し、協議内容は「C・S通信」として地域にお知らせ致します。

2020/11/30 VOL.3 C-Sコミュニティスクール=学校運営協議会が設置された学校 発行：茨曾根小C-S事務局

茨曾根小C・S通信

第3回学校運営協議会報告

11.19 茨曾根小学校運営協議会にて

【次第】

- 開会挨拶 協議会長
- 出席者挨拶 平山校長、協議会長
- 協議会の役割 平山校長
- 報告、決意表明 協議会長
- 協議会運営 アクションプラン 協議委員長
- 閉会挨拶 協議会長

11名の委員の出席を得て、上記の内容で90分間にわたる熱心な協議が行われました。ここでは、4つの重点からその内容をお知らせします。なお、本誌学校運営協議会については、学校から文部省より届いた報告書・地域に公開されているのと一致です。

①自立を促す

◆自治体最大の「長年の課題である」児童福祉の推進に多岐にわたるアプローチが必要。『自分の考えを積極的に発信する』『自らをもちつなぐ行動が鍵』これらは、子どもと学校だけの課題ではなく、分野を越え、関係者を巻き込み、協働を推進して取り組む必要がある。

②多様な学びの保障

◆特別支援教育の推進は「教育活動の場が十分にある。実践の場が充実した実践的な授業になっていく」部分がある。この部分については、関係者が協働して取り組む必要がある。①「自分」と「他者」の関係を構築してやり取り。

③校舎外観の改修

◆校舎の外観、特に、玄関の改修が、地域のイメージアップに大きく貢献する。今年度の予算では見送られた。工事費は約100万円。今年度の協議会の「C・S」の推進と安全対策の対応として、決して高過ぎる額ではない、協議会としても取り組む必要がある。

④設備の要(かなめ)

◆特別支援教育の推進は「特別支援教室」の確保が重要。今年度の協議会の「C・S」の推進と安全対策の対応として、決して高過ぎる額ではない、協議会としても取り組む必要がある。

11.18 下等小の協議会づくり委員

南区自治協議会提案事業

令和2年度

「南区まちづくり活動サポート事業」に応募

コロナ禍で、活動が自粛され夏祭りも全て中止となつてしまひ閉塞感漂う中、下茨自治会では、市の助成金を活用して子供たちの居場所づくりと老人会との世代間交流、地域の課題解決に向けた伐採木の丸太ぎり大会を企画いたしました。

日時 十一月十五日(日)

午前十時

場所 下茨ふれあいセンター

参加者

親子六組

子ども十一名

五九朗会の皆さん

目的

◆地域の老人会と子供たちとの世代間交流の場を作る。

◆伐採した大木を活用し子供達の体験教室開催

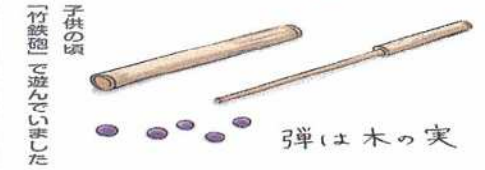
コロナ感染予防対策の為に多数の募集が出来ず、下茨地区と茨っこクラブの親子を対象に、検温にマスク着用と消毒に努め、換気にも注意して開催致しました。

老人会の皆さんが、土手浴いにたくさん自然派生している「しの竹」を切って運んでくれました。そして昔遊んだ経験を子供達に指導しながら親子で一緒に作りました。「しの竹てっぽう」は、「ポーン」と高い音で遠くに飛び出して行きます。子供達は大はしゃぎで、自分で作ったしの竹てっぽうを何度も「ポーン」と音を立てて遊んでいました。お祖母ちゃん達も、大鍋でカレーを50食分を作って振る舞ってくれました。

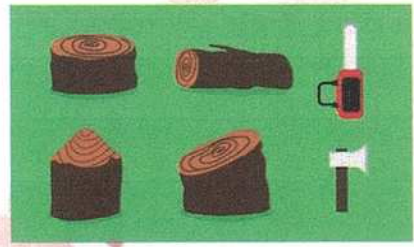
ペンキを塗った丸太は、ベンチとして下茨ふれあいセンター前に設置してあります。薄く切つて茶托や鍋敷にもなりました。子供達に、昔ながらの玩具づくり等様々な体験を通して茨曾根地域への愛着を育てる目的で行いました。今後色々な形で子供が体験ができる「こどもの居場所づくり」の企画を継続して欲しいとの意見を保護者のみな様から頂きました。



しの竹てっぽう作り



伐採木丸太ぎり大会



ペンキ塗り



老人会婦人部の皆さんカレーを50食分作りました



どんど焼き 開催

学校・地域連携のもと、1月23日に伝統行事どんど焼きが開催されました。

燃え上がる炎に学力向上、コロナ退散、交通安全、健康長寿などを祈願されたと思います。大勢のご参加、ご協力ありがとうございました。



茨曾根地域生活センターの臨時職員を募集します

- 1 雇用期間 令和3年4月1日から令和4年3月31日まで
- 2 業務内容 毎週水曜日勤務を基本とし、窓口受付及びその他庶務業務
- 3 募集人数 1人
- 4 勤務時間 午前9時から午後5時15分まで
- 5 報酬・通勤手当 報酬は新潟県最低賃金を基準として支給、通勤手当は片道2キロ以上の場合1日100円
- 6 資格要件
 - (1) 75歳以内の健康な方。(76歳誕生日の属する月末までの雇用とする。)
 - (2) パソコン基本操作ができる方。ただし、ほかに応募者がいない場合は資格不要とする。
- 7 申込及び問合せ先
令和3年3月15日(月)迄に、茨曾根地域生活センターに照会・下記の申込用紙にて申し込むこと。
- 8 採用通知 採用決定者のみに3月19日(金)迄に通知します。



切 り 取 り

令和3年 月 日

コミュニティ茨曾根会長 様

令和3年度茨曾根地域生活センター臨時職員申込用紙

氏 名	⑩	生年月日	1 昭和 2 平成 年 月 日生
住 所	〒950-14	新潟市南区	番地
連絡先電話		職 業	
(自由意見記入欄)			